

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第160号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2016年3月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1、2
- 「中小企業支援と公設試験研究機関の役割を考える」シンポジウム報告 3、4
愛 賢司
- 「新事業・新技術支援フォーラム」 松井 利夫 5
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 5、6、7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

<イグレン新グループ設立に関する次回会合のご案内>

イグレンが新しいグループづくりを行うという事で昨年10月より説明会&意見交換会を行っています。企業経営者を始め行政に携わる方や県OB、会員の方などにご参加頂いており現在意見を集約中です。

イグレンニュースをお読み頂いている会員の方にとっては他業種との交流を深めるチャンスであり、ビジネス拡大につながる可能性もあります。また、第一線から離れておいでの方にとってもご自身の経験を多くの方に役立ててもらえるという貢献の場でもあります。今後、何度か討議を重ねた後、新グループを設立します。次回は4月21日（木）に第5回目の会合を行いますので皆様ふるってご参加下さいませ。是非、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

【日 時】 : 2016年4月21日（木） 18:00～20:30 まで（懇親会付）

相手のビジネスを応援するその
 先にビジネスチャンスあり！！
 自分達で新グループを立ち上げよう



< 新規イグレン会員募集 >

かながわイグレンも30周年を迎えホームページも一新し、新たな局面に入ってきています。出来るだけ多くの皆様にもご参加いただけるよう会費の変更も行っています。現在、個人会員は3,000円、サポート会員の皆様は1,000円と、ご加入頂きやすい会費となっています。ビジネス拡大の場として、また皆様の交流の場としてご活用頂ければと思います。

皆様の周りの方で人との交流、ビジネスなどに興味がおありの方がおいででしたらイグレンスタッフまでお声がけください。

※ 先月 早川 成昭 氏 がご入会されました。健康と環境についてご興味がおありです。

神奈川中小企業センターの地下室利用について・・・

交流の場として活用したいという要望が持ち上がっている。当初（2015年3月）、イグレンへ事業委託しベンチャー企業と運営管理をして欲しいという案もあって、研究をした。現在は困難になった）
海老名の産技センターの横浜支所的機能を検討

< 構想骨子 >

- 中小企業経営者との交流・連携の拠点となる Fab Cafe 的運営を行う。
 ※ Fab Cafe とはレーザーカッターやカッティングマシン、3Dプリンターなどを使って自由に「デジタルものづくり」を楽しむ事ができる Cafe のこと。
- イグレン支援の各グループ・サロン・プロジェクト・スタッフ・理事会などの会合を行う
- 地下室で強度もあるため卓上旋盤の利用も可能。一般の利用・相談・ものづくり機能を付加する。
- ベンチャー創業希望者・既存の小規模事業者・中小経営者などの事業企画会議の支援
- 共同研究開発の利用拠点として利用
- 会全体の運営に関しては「共感」をキーワードにした社員との共感、世代間共感、学生との共感など信頼をベースとしたネットワークを想定するビジネスモデルにする。

【 神奈川イグレンから資料提供のお知らせ 】

昨年、神奈川イグレンは30周年を迎え記念誌を発行しました。イグレンではその掲載にある「団体・企業・個人交流ファイル」を活用し、「企業広告」の効果やイメージについて関東学院大学経済学部の学生達に評価をしてもらいました。興味もしくは関心のある企業は？ 関心を持った理由は？ 企業広告のPR方法について改善すべき点は？ 学生にとって必要な情報は何か？ 交流ファイルの感想は？ など、企業主の主観で考えた企業広告に対して生の声を掲載しました。

『学生は中小企業の広告をどう評価しているのか』をイグレンにて作成し全133頁の紙面にまとめています。広告掲載件数92社の内、評価が上位に来ている企業は学生の関心を上手にとらえ、社会的にもアピールしているものだと推測できます。この冊子では現代の学生がどのような所に関心を持っているのか分かります。関心のある産業やテーマ、関心度、惹きつける広告とはなにか？などが分かりますので求人採用にもご活用頂けるのではなからうかと思えます。会社の人事・広報部門の方必読です。イグレンスタッフがアンケートを分析した労作です。

販売対象・・・経営者、人事（総務）担当者、現在就職活動をしている学生、その他関心のある方など。

販売価格・・・会員は1万円、会員外2万円で提供しています。



是非ご購入頂きご活用くださいませ。ご依頼はイグレン事務局まで。 連絡先 045-228-7331

「中小企業支援と公設試験研究機関の役割を考える」シンポジウム報告

中小企業への技術支援、人材育成の重要性が浮き彫りに

事務局次長 愛賢司

3月5日(土)に産業技術センター職員及びOB等が参加する「神奈川県の中小企業支援と産業技術センターの将来を考える会」(代表 芝忠神奈川県異業種連携協議会専務理事)の主催で、「中小企業支援と公設試験研究機関の役割を考える」シンポジウムを横浜市内で開催しました。県内企業10数社、神奈川県産業振興課、産業技術センター職員、市民など合わせて60名を超える参加でした。

産業振興に欠かせない公設試験研究機関

第1部は、「中小企業支援と公設試験研究機関の役割」と題して、慶應義塾大学経済学部の植田浩史教授から基調講演がありました。植田氏は、まず、公設試験研究機関(以下、公設試)が、明治期から地場産業振興のために多くの地域で設立され重要な役割を果たしてきたこと、1990年代の米クリントン政権は日本の製造業の発展に公設試が重要な役割を果たしたことを認識し、自国の情報産業戦略・製造業戦略に公設試の技術支援モデルを巧みに取り入れたこと、一方で日本の公設試では1980年代から2000年代にかけての機関統合・再編によって、地域産業の技術支援から先端・ハイテク技術開発へと公設試の機能が大きく変化したこと、しかし、十分な研究成果が出ない状況に直面し、その反動として、2000年代からは再び実学指向に大きく舵を切ったという歴史的な役割の変遷を解説しました。このように公設試に対する政策が変動するなかで、①研究・開発、②相談・指導・人材育成、③依頼試験・分析という公設試の3つの機能を維持しなければならないという公設試の原則的な役割を指摘しました。

独法化は資金面で大きな心配

次に2000年代以降の公設試が直面している外部環境の変化として、①自治体財政の逼迫、国補助金の減少、②産業構造・ME化・デジタル化等の技術構造の変化、④公設試の政策的位置づけとしての大学との連携、⑤定量的評価や独立行政法人化、⑥中小企業の技術向上に伴うニーズの変化等の環境変化が進行する下で、公設試の抱える次の3つのジレンマを指摘しました。①企業支援業務と研究業務の重要性が共に増す一方で予算の減少、外部から収入源を求めざるを得ない点。②競争的外部資金の獲得が求められる研究業務と企業への支援活動が現実的に矛盾すること。③予算と資源の制約の中、公設試に「選択と集中」が求められるが、そのこと自身が企業への支援活動との間に矛盾を生じさせること。「選択と集中」は不可避としても生じる問題の検討が必要である。

その上で公設試の課題として①公設試の多様な可能性を他機関との過度の調整により排除させないこと、②コーディネート機能などの新たな機能が必要、③顧客サービスの向上、戦略的プロモーション活動の推進、④公設試の評価は中長期的・波及的評価や多面的な役割の評価が必要、⑤過度の競争的資金依存の回避、⑥ネットワークの強化をあげ、中小企業をとりまく厳しい経営環境の中で中小企業が元気になることが地域を元気にし、日本を元気にする道であり、そのための企業の自立・イノベーション・連携・創造を支援する公設試の役割が重要と締めくくりました。

質疑では、産業技術センターの独立行政法人化についてのメリット・デメリットに比べて、メリットとしていわれる「自由度の高さ」については、公設試の目的が明確に見える場合は自由度の高さがメリットにもなるが、そうでない場合は一概に言えない。逆にデメリットとして、予算が入ってくるかどうか。国立大学の例を見ると一番危惧されるところとの回答がありました。

中小企業支援の歴史が浮き彫りになった県産業技術センター

第2部は芝イグレン専務理事の司会でパネルディスカッションが行われました。神奈川県産業振興依田孝志課長から、高齢化社会対応の生活支援ロボットの実用化や火山活動調査のためのドローンやロボット、産学公の連携、起業の促進などを例に、県の産業振興策が紹介されました。イースタン技研(株)代表取締役 河西正彦氏から、産業技術センターの人材育成支援の重要性とともに、支援の充実のためにも産技センターの基礎技術力の強化が重要ではないかという指摘が出されました。昭和精工(株) 木田成人氏は、基本的な試験依頼と自社の開発について金沢区の工業試験所時代にはお世話になったこと、海老名に移転してからは、横浜市の工業技術支援センターの技術的限界もあり、自社で何とかしようと努力してきたこと、やはり中小企業にとっては、身近なところで試験依頼や相談できる支援体制が求められるとの見解を表明されました。

全体質疑では、各社から産業技術センターの研修で自社の人材育成をはかってきたことのお礼が述べられるとともに、中小企業にとって、自社ではできない人材育成の重要性が語られ、起業するに当たっても自ら研修に参加し技術だけでなく、起業に必要なノウハウを学んできたことなど、人材育成が中小企業の期待する公設試の役割として重要であることが明らかになりました。

また、自社製品の不良が起きた時に産技センターの依頼試験による分析とアドバイスが大いに役に立った事例や、会社の経営危機を脱出すべく立ち上げた新規事業が産技センターのアドバイスによって、今では会社の主たる収入源に成長した事例など、産業技術センターが地域企業に果たしてきた重要な役割が浮き彫りとなりました。

最後にシンポジウムの名で県に対し以下の5項目の要望を提出することが確認されました。

①産業界（製造業）全体に目配りをした幅広い技術分野に対応できる支援体制の強化、②技術の高度化・精密化に対応できる技術人材の確保と育成、③中小企業支援のための計測機器の整備と充実、④中小企業の最重要課題である中核的人材の確保と育成、⑤地域の中小企業支援を強化するための支援体制の構築。



© Can Stock Photo - csp11188157



「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

松井利夫

第38回フォーラムは平成28年2月25日に開催。初めに、ヒューイズガレージ(オートバイ業)の矢田さんから「新会社設立の課題」について説明があった。3月1日に株式会社として法人化しようと考えているが、皆さんの意見を伺いたいとのこと。矢田さんは、大阪から上京し、職業訓練大学校を卒業してカメラ会社に入社。試作部門で溶接、旋盤、フライスなど経験した。そこで3年半勤めて12万円の退職金を貰い、現場労働員を経て、オーストラリアに行った。そこでは、運送会社の配送業務を行った。オーストラリアの人は共働きで家庭を大事にし、残業はない。残業の多い日本とのギャップを感じたとのことである。一年半の滞在後帰国。この程、バイク屋を起業して18年から19年目にかけて法人化することにしたが、法人化のメリットは、①事業の継続性のための後輩を育てること。教えることで、教えた側の先輩も復習でき、成長する。②法人を契約者とし、役員、社員を被保険者とした保険契約をすることで退職金や、死亡等の事故時への会社、遺族への補償が可能になる。その保険料は、会社経費として落ちるので会社の負担も軽減する。個人事業主では保険料が経費にならず負担が大きい。③自身が、思いも寄らなかった機会で見ることができ、仕事の中で楽しみを見出すことができる。会社設立の理念については、①少しでもいいので社会貢献、②後輩を育てる、③自分の仕事に楽しみを見付けるである、との説明があった。

次に、歯科技工士の渡邊さんから、開発した画期的な「回転歯ブラシ」について説明があった。歳をとると悪くなるのは、入り口の歯の部分と出口の排泄器官です。特に入り口の口腔ケアをしっかりとる事で体内に入る細菌の浸入を防ぐ事が可能である。私が歯科業界に導入した「クルンのルンダデンタル(商品名)」は、北欧製ではなく日本製であり、『歯ブラシ革命と言っても過言ではない』と思う。一般の歯ブラシはゴシゴシと磨いてしまうために、自分で知覚過敏症にしている。理想的な歯ブラシ圧は150~200gで回転だと常に保たれる。力を入れてこそぎ落とす歯ブラシでなく細い毛で歯磨き粉のいらぬ水だけで毛細管現象のように吸着して歯と歯ぐきを同時に出来るとのこと。

次に、製造販売会社の中島さんから、「回転ブラシ」について説明があった。従来の歯ブラシの1本の毛の太さは0.2mmであるが、「回転ブラシ」の毛は0.076mmで1/3の太さである。1枚のディスクに1100本の毛が植毛されており16枚を積層した構造で、17,600本ある。この歯ブラシは、歯ぐきのマッサージ効果があり唾液の分泌を促し、唾液の洗浄作用、抗菌作用等が期待できる、とのこと。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

「第69回三浦半島経済人サロン」報告

イグレン会員 : 鶴野 省三

1. 開催日時：平成28年2月24日(水)18:00~20:30
2. 話題提供：(有)品川文化堂 代表取締役 品川哲朗氏
3. テーマ：品川文化堂の地域活性化への取り組み
4. 要旨

品川文化堂では「三浦半島スケッチの会」の作品を絵葉書として販売。それが好評なので昨年末は年賀状で発売したところ販売も伸びた。郵便局でも地域の年賀状として取り上げてもらうと年賀状の販売数は伸びるのではないかと、この話から横須賀市及び中央商店街が抱える問題について、品川氏からの質問に参会者一人一人が意見を述べる形で進められた。この対話形式の講演により非常に盛り上がりのあるサロンとなった。

※ これをまとめた資料に関しましては別紙をご覧くださいませ。

【NPO法人 C&S 経営支援協会】

NPO理事長 松井利夫

「創業スクール」開設のための準備中です

国は、地域創業促進支援事業の一環として、昨年度、「創業スクール」の実機機関を公募して各地で実施されたので多くの創業・開業を目指す方々が学ばれました。今年度も近く、実施機関の公募が始まる見込ですので当NPOでは受託のための準備をしています。

「創業スクール」は、創業・開業希望者に対し、創業に必要な財務・税務等の基本的知識の習得やビジネスプランの作成支援を行って地域における創業者の増加を図ることが目的です。

現在、本事業を受託するため準備中の「創業スクール」の内容は次の通りです。

【研修コース】	ベーシックコース	【受講料】	10,800円
【カリキュラム案】	全7日間・系13講座	【応募資格】	開業・独立を希望する方で、通学可能な方
【日程】	未定です。		

以上ですが、受託出来た場合には、改めて詳細の実施内容をお知らせしますので、開業・独立を希望される方は今からご準備をお願いいたします。

【問合せ先】E-mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp 又はケタイ : 090-9130-0119

【第169回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2016年3月23(水) 午後3時30分～5時15分 協議会
午後5時15分～6時15分 交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会）TEL : 045-228-7331
3. 次第： 会長挨拶：瀧澤 清氏
 - ◆ 企業紹介： ハイアールアジアR&D(株) 特別顧問 石田 賢氏 (20分程度)
 - ◆ 最近の講演会、研修等の報告 大島経営研究所 所長 大島英雄氏 (10分程度)
 - ◆ 韓国の音楽事情について 声楽家・コーディネータ 戸田志香氏 (20分程度)
 - ◆ 光陽湾圏経済自由区域の紹介
当初、光陽湾圏経済自由区域庁の方が訪問予定でしたが来日できなくなりました。
代行して石橋氏および山崎氏が説明されます。(40分程度)

<4月度は総会です。4月27日(水)を予定しております。>

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/) 有村 知里

<2016年4月定例会>

■ 日 時 2016年4月12日(火) 定例会 18:30~20:20 懇親会 20:30~22:00

■ 場 所 かながわ県民センター 3階 303会議室

■ プログラム

1. 講演 「営業しか経験したことのない40代の素人が突然、プレゼン専門部門に配属されてしまった時にやった事は・・・」

株式会社リレーションシップ 営業本部 本部長 森 幹雄様 (当会会員)
1985年7月「労働者派遣法」の成立と期を同じくして、人材ビジネス業界に転身。
その後30年以上、同業界でビジネスを経験しております。現在は株式会社リレーションシップに在籍し、営業部のマネジメントをしております。また、複数の人材会社ともコンサルティング契約で活動しております。

2. プレゼンタイム

お一人様5分間で、ご自由にプレゼンしてください。・・・3名まで募集いたします。

■ 参加費

定例会 / 初回参加の方 無料、2回目・3回目 1,000円、4回目以降 4,000円

懇親会 / 初回参加の方 1,000円、2回目以降 実費(3,000円程度)

異業種交流会シフト21とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。

多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどを行い、各自の研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。

お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。(shift21info@gmail.com)

イグレンホームページに新しい投稿が公開されました。

【タイトル】 48 調達購買担当者に要求される知識と能力 1 【カテゴリー】 初心者のための資材購買

【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-918/>

【タイトル】 49 調達購買担当者に要求される知識と能力 2 【カテゴリー】 初心者のための資材購買

【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-920/>

【タイトル】 50 調達購買担当者に要求される知識 3 【カテゴリー】 初心者のための資材購買

【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-921/>

【タイトル】 51 「資材購買基本」まもなく終了します 【カテゴリー】 初心者のための資材購買

【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-923/>

【タイトル】 52 外国為替の変動に注意しましょう 【カテゴリー】 初心者のための資材購買

【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-931/>

	神奈川新産学公交流 第70回 サロン横浜	西湘サロン 第62回	海老名サロン 第33回	三浦半島経済人サロン 第70回
日程	03月16日(水) 18:00~20:30	05月09日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	03月18日(金) 15:00~	05月18日(水) 18:00~ 開場は17:30~
場所	神奈川中小企業センタービル7F 横浜市中区尾上町5-80	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川県産業技術センター2F 講義室6 海老名市下今泉705-1	神奈川新聞社 横須賀支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	(織方、篠原、坂本、杉本)	イグレン(吉池)	愛 賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	「60歳からの行動指針」 リニューアルプロデュース 有馬俊一氏 参加費:1,000円	「働くアリはヤセツポチ」 肥満の功罪 近藤蟻蜘蛛研究所 近藤正樹氏 参加費:1,000円	「これからの事業の在り方を考える」 ディスカッション 会費:2,000円	「環境にやさしい土木資材」 武尊(ほたか)建設 代表取締役 内藤義和氏 参加費:1,000円

尾上町サロン・・・毎月1回、第一金曜日に開催。次回04月01日17:15~19:30 参加費1000円
ざっくばらんに語り合う場 会場：中小企業センター703 イグレン事務局

三寒四温が続いていて春なのだから冬なのだからよく分からない状況です。この時期になると毎年花粉も飛び散り、あちらこちらでテッシュのお世話になる人も多いことでしょう。毎年、花粉症に悩まされている方は舌下免疫療法を試してもいいのかもしれませんが。治療はごく簡単ですが継続治療が鍵となり、それなりに時間もかかります。また、その時ではなく花粉の季節を外して治療を受けることが必要です。近年健康保険が適用となりましたので自己負担も少なく治療を受けることができますよ。細かいことは厚生労働省のホームページでも確認してみてくださいね。では来月またお目にかかりましょう。



「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com